

NO！オスプレイ

オスプレイ17機を何としても 木更津に配備したい防衛省・・・



5月24日防衛省が木更津市 並びに千葉県に「佐賀空港に配備予定の“陸自オスプレイMV-22”17機を木更津駐屯地に暫定配備したい」と要請してきました。「暫定と言うがどのくらいの期間？恒久になるのでは？」「騒音問題もあるし、危険なオスプレイは嫌だ」という市民の声が上がっています。

木更津市は2019年8月3日防衛省による説明会を市民会館で開催（参加者260人）。木更津市の部長は開会のあいさつで「防衛省から要請があったが議会も当局も保留。千葉県とも相談して、云々・・・」となんとなく歯切れの悪い弁。

防衛省からは12名の職員が参加して約2時間にわたって説明とQ&Aが行われました。

防衛省からの説明

日本を取り巻く安全保障環境の厳しさが語られ、特に中国の軍事活動の活発化と、尖閣列島などの“南西諸島の島嶼防衛”の必要性から“水陸機動団”の結成（2100名）と、輸送の為のオスプレイの必要性が語られました。

又、今あるCH-47ヘリと比べてMV-22オスプレイの機能は270k/hより速い465k/hの速度、最高飛行高度は2800mに比して7620m、航空距離は800kmから2600kmとより高い能力があるので3600億円で17機の購入をしたとのこと。

オスプレイの安全性は米国政府が安全性を確認して量産したもので、我が国も独自に確認していると。（どのような独自の調査をしたのかは明らかにしなかった）”沖縄名護市沖の事故もパイロットのミスで機体に問題はない。オーストラリアでの着艦事故はオスプレイの吹き下ろしが輸送揚陸艦の船体に当たってはね返った気流が回転翼に戻ってきたため。だから機体の問題ではない。”と米国が安全だと説明しているから安全ですと語りました。

木更津駐屯地への暫定配備の必要性は、“島嶼防衛から本年度中にオスプレイ部隊を新編するという喫緊の課題”への対応であるとのこと。



暫定配備として木更津を選んだ理由として①オスプレイに必要な1500mの滑走路がある②駐屯地内にオスプレイ17機配置の地積がある③既存配備機への影響が小さい④既存の設備が利用できる⑤水陸機動団のある佐賀までの距離が近く無給油で飛行できる⑥佐賀空港は公害防止協定で自衛隊が使えない。施設を造るのに時間がかかる。を示しました。

更に、オスプレイの木更津での訓練は、現在のCH47ヘリの訓練ルートと同じで房総半島南半分に存在する低空飛行訓練地域も利用するとのこと。現在のCH47の一日平均90回（年25000回）の離着陸にオスプレイの一日平均15回（年間4500回）が増えるとのこと。部隊の人員は430名が想定されている。訓練内容はホバリング訓練・基本操縦訓練・部隊訓練とのこと。

一日90回に15回増えるぐらいだから変わらないとでも言いたげな説明に防衛省の姿勢を感じました。

以上の説明後、**会場からのQ & A・質疑応答**が行われました。

Q：オスプレイの噴き出しが300度Cの熱風の問題、オスプレイの事故率が高い(3.24)ことが指摘されても安全なのか？

答：米国政府が安全だと言っているし、平成28年米海兵隊へ自衛隊員を派遣してオスプレイの訓練をして安全が確認されている

*米軍が安全だと言う説明を疑わず追認しているようでした。(ふ)

Q：危険だから米国と日本以外にオスプレイを購入していないのでは？

答：米国ではオスプレイを置いているのはカルフォルニア・ノースカロライナ・ハワイの3州のみで、外国で購入しているのは日本だけ。

*この現状を認識しても疑問を感じない防衛省の頭の固さにびっくりです。

Q：周辺の安全保障の状況の危機を語るなら平和外交をすべきでは？オスプレイ17機で3600億円も使うのは無駄では？

答：奄美大島から与那国島南西1200kmは自衛隊の空白地域。この地域の島嶼防衛のためにはオスプレイが必要です。だから水陸機動団を持った。外交もやりますが安全を守る抑止が必要。その防衛力の上での外交です。

*これでは武力で平和を造りましょうと言う”戦争は平和”です。

Q：今日の説明会で次は暫定配備を決定したと言うようなことはしないでください。木更津市以外の自治体でも説明会をしてください。

答：市・議会が理解していただく。当局・議会が判断していただく。防衛省は暫定配備をしていく立場です。木更津以外の市町村への説明会については千葉県に聞いて考える。

その他、質疑の中で明らかになったことは、

*災害支援としてのオスプレイの使用：配備が木更津に決まったら第一空挺団でオスプレイを使うとのこと。となれば習志野基地でのオスプレイ訓練という事になります。そして空挺団の落下傘訓練時入間から下総基地を使つての空挺団の練習がなされています。下総基地にもオスプレイが・・・？

*オスプレイのエンジン点火に放射性物質がつかわれている(クリプトン)。しかし劣化ウランは使われていないとのこと。

*騒音対策は暫定配備してから木更津市と相談しての対応とのこと。

住民の疑問・不安を解消することなくただ「安全です。島嶼防衛に必要です。暫定配備の条件をクリアした木更津に配備したい」と言うだけの説明会でした。

ちなみに鎌ヶ谷市にある下総基地に最近何故か木更津駐屯地のヘリコプター団のヘリが飛んできています。7月24日・25日と木更津のヘリが一機づつ飛来しています。何なのでしょう？下総基地はP3Cの教育訓練隊です。ヘリは久しく飛んでいなかったのに・・・

木更津市民そして千葉県民がはっきりとオスプレイの配備反対！拒否！の声をあげていきましょう。木更津に17機暫定配備されたら横田基地のCV22オスプレイ10機とで27機も首都圏にオスプレイが飛びまわることになってしまいます

武力で平和は造れません！オスプレイを拒否して私たちの平和主義を実現しましょう！

”民主主義と自治そして平和主義” ふじしろ政夫 047-445-9144

*4月8日以降の活動報告ホームページに掲載してます。

「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。

